

資料-3-1

H24.10.12

第3回 神戸川の河川環境
に関する専門委員会資料

第6回 志津見ダム・尾原ダム モニタリング委員会結果

国土交通省 出雲河川事務所

第6回 志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会の総括

【神戸川における水質調査結果等についてのみ抜粋】

1. 審議の内容

平成24年10月10日に開催した第6回志津見ダム・尾原ダムモニタリング委員会において、以下の内容について審議を行った。

1) 神戸川における水質調査結果等について

2. 審議の結果

1) 神戸川における水質調査結果について

- ・これまでの調査では原因の特定にいたっていないため、引き続き調査を行うこと。
- ・「黒っぽい水」の要因として、成層期に下層でマンガン溶出し、それが下流に流れたときに酸化して黒くなる可能性があるが、志津見ダムでは現在上層付近で取水しているため、それは考えられない。来島ダムでは、湧水期の水位の低い時期に下層の水を放流している可能性があるため、管理者による調査・原因究明が望まれる。
- ・「富栄養化」については、角井川の栄養塩の負荷量について調べること。また、ダム湖内では、湖底からの栄養塩の溶出によるアオコ発生要因も考えられるため、可能な対策についても検討する必要がある。
- ・平成24年8～9月の志津見ダムダムサイト中層部のDO低下の原因については、継続調査すること。

(以上)